

**2019 年世界無線通信会議（WRC-19）に向けた我が国の考え方（案）
に対し提出された意見及びそれに対する総務省の考え方**

議題	提出された意見(概要)	総務省の考え方
1.5	<p>我が国の考え方（案）に賛同致します。固定衛星業務における移動地球局により、国内で利用中の固定マイクロ通信システムを含む既存業務に対して、制限が課せられないよう対応を進めるべきであると考えます。また、27.5-29.5GHz帯は国内において5G用に周波数割当が検討されていることから、5Gの利用に対しても制限が課せられないよう対応を進めるべきであると考えます。以上の点を踏まえ、固定衛星業務における移動地球局に対する共用条件が、国際的な枠組みとして適切に設定されるべきであると考えます。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社NTTドコモ】</p>	<p>我が国の考え方についての賛同意見として承ります。</p>
1.8	<p>新たな衛星プロバイダとなっているが、これは新たな規制を意味しているものか。概要ではなくもう少し何をしたいのかを記載してほしい。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>本議題は、海上における遭難及び安全に関する世界的な制度（GMDSS）の更新及び近代化のための規制条項（周波数の特定や新たなシステムの規則上の位置づけ等）の検討であり、国際海事機関（IMO）の検討を考慮しつつ、GMDSSの新たな衛星プロバイダとして、イリジウム及びスラヤ衛星システムの導入について検討を行うものです。</p>
1.9.1	<p>156-162.05MHzにて運用する自立型海上無線機器はこのような広い帯域を使いどのような用途を想定しているのか。当然にデジタル化されているものであろうが、大部分の船は遭難時しかほとんど使っていなかったように思われる。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>AIS技術等を利用した自律型海上無線機器は、海上において様々な用途での利用が想定されているところです。</p>
1.9.2	<p>議題 1.9.2 に関して、“5B/411 Annex27 PDNR ITU-R M. [VDES-SAT] 3.4 項にて、Method Aに対応する alternative2 が技術要件としては優れている”との記述</p>	<p>Method Aで提案されている周波数帯は、我が国では海上移動業務以外にも使</p>

	<p>がありますが、それに対する検討及びその採用がなされた場合の対応が必要ではと 考えます。</p> <p style="text-align: center;">【沖コンサルティングソリューションズ株式会社】</p>	<p>用されています。既存業務（海上移動業 務以外）保護の観点に基づき、Method C を支持することが適切と考えます。</p>
1.12	<p>我が国の考え方（案）に賛同致します。安全運転支援や自動走行に向けた V2X 通信用 周波数として、世界的に検討が行われている 5.9GHz 帯を考慮したグローバルハーモナ イズが必要であると考えます。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 NTT ドコモ】</p>	<p>我が国の考え方についての賛同意見とし て承ります。</p> <p>なお、V2X 通信用周波数に関する意見に つきましては、国際的な動向も踏まえな がら検討を進めてまいります。</p>
1.13	<p>我が国の考え方（案）に賛同致します。モバイルデータトラフィックの継続的な増加 傾向と、5G 時代の到来、利用シーンの拡大を踏まえ、国際的にハーモナイズされた IMT 周波数を確保していくことが必要であると考えます。WRC-19 において、5G に適した周 波数ができるだけ多く特定されることを支持するとともに、特定された周波数が国内 で早期に利用できるよう、国内向けの検討を並行して実施することを希望します。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 NTT ドコモ】</p>	<p>我が国の考え方についての賛同意見とし て承ります。</p> <p>第 5 世代移動通信システムの周波数確保 及び早期利用に向けて、検討を進めてま いります。</p>
9.1 (9.1.2)	<p>我が国の考え方（案）に賛同致します。検討対象帯域を含む 1.5GHz 帯は国内で携帯電 話が利用中であり、グローバルにも今後利用が拡大されるため、IMT 無線局が長期的 に保護されるとともに不要な制限が課せられないような対応を進めるべきと考えま す。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 NTT ドコモ】</p>	<p>我が国の考え方についての賛同意見とし て承ります。</p>
その 他	<p>次回の世界無線通信会議 (WRC-19) は 2019 年 10 月 28 日～11 月 22 日まで開催される予 定であり、現時点でパブコメを行うのはどういう意味か。電波有効利用成長戦略懇談 会におけるパブコメや、以降の懇談会で決まったことはどのように反映するのか。 WRC-19 の直前にもう一度パブコメをして欲しい。</p> <p style="text-align: center;">【個人】</p>	<p>今回は、第 3 回 APT-WRC 準備会合に先立 ち、現時点での我が国の WRC-19 向け た考え方について意見を募集しました。 今後も適切な時期での実施に努めてま いります。</p>